



2026年2月2日

各 位

会 社 名 大 和 工 業 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 小 林 幹 生
(コード番号: 5444 東証プライム)
問合せ先 執行役員 花 本 昭 彦
(TEL 079-273-1061)

特別利益（投資有価証券売却益）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議し、下記のとおり特別利益（投資有価証券売却益）を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、上記特別利益の計上及び最近の業績動向を踏まえ、2025年10月31日に公表いたしました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 投資有価証券の売却理由

資本効率の向上等を図るため実施するものです。

2. 投資有価証券売却の内容

(1) 売却株式	当社保有の上場有価証券
(2) 売却時期	2026年2月から3月（予定）
(3) 投資有価証券売却益	約130億円（見込み） 現在の当該有価証券の株価等から算出した見込み額であり、変動する場合があります。

3. 2026年3月期の通期連結業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	156,000	3,500	56,000	38,000	622.13
今回修正予想(B)	161,000	4,000	60,000	53,000	878.54
増減額(B-A)	5,000	500	4,000	15,000	
増減率(%)	3.2%	14.3%	7.1%	39.5%	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	168,268	11,493	54,402	31,833	502.51

4. 修正の理由

今後の見通しにつきましては、中国では不動産不況等による内需不振が一段と深刻化しており、過剰生産による安価な鋼材輸出も依然として高水準が続いていることから、世界的な鋼材需要の停滞・市況低迷が継続するものと思われます。当社グループの主要製品であるH形鋼等の土木・建築用鋼材の需要も全体的に盛り上がり欠ける状況が続き、米国政府による関税強化の恩恵を受ける米国事業を除いては厳しい価格競争が続いております。各拠点において、中国材への対抗策を図り、引き続き販売数量の確保、鋼材マージンの維持及びコスト低減等に努めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、経営環境は前回予想と比較して総じて大きな変化はないものの、円安が継続していることから、売上高を161,000百万円（前回予想比5,000百万円増）、営業利益を4,000百万円（前回予想比500百万円増）、経常利益を60,000百万円（前回予想比4,000百万円増）に修正し、また、当第4四半期に投資有価証券売却益（特別利益）130億円の計上を織り込んだことにより、親会社株主に帰属する当期純利益を53,000百万円（前回予想比15,000百万円増）と上方修正いたします。

（注）業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上